

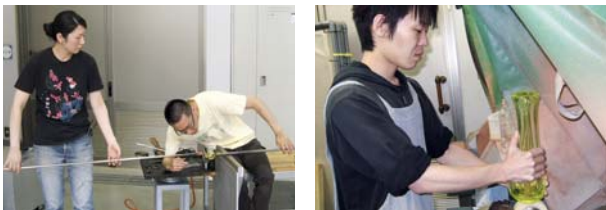
「特集」

妖精の森ガラス美術館

Fairywood
Glass
Museum



右——春の新作たち
中——外観
下左——工房での制作風景
下右——切り子の制作風景



今年で開館から5年目を迎える「妖精の森ガラス美術館」では、入館者数の総数が6万人に迫っています。美術館の現在と今後について館長の畠山さんにお伺いしました。



畠山館長

「妖精の森ガラス美術館とはどんな施設なのですか？」

妖精の森ガラス美術館は、平成18年4月に開館した町営の美術館で、アンティークなどのウランガラスによる常設展示と、半年ごとに展示作品が変わる企画展示の2つの展示を主に行っています。

また、隣接する工房棟ではガラス作家によるガラス作品の制作を行っており、美術館から制作の様子をご覧いただけるほか、ガラス作品を購入することができます。

この他にも吹きガラスなどの制作体験も行っています。

「常設展示されている「ウランガラス」とはどのようなものなのでしょうか？」